

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆいまーなっつ		公表日 2025年 2月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	利用者の人数が多い場合は部屋数を増やし利用者様の特性に応じて部屋割りを配慮しています。	今後もお子様が活動しやすい環境作りに努めていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	3	ご利用人数により対応し配置しています。	ご利用人数や状況、イベント内容などに応じて職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	玄関にはスロープを設置するなど工夫しています。	建物上完全なバリアフリー化は難しいですが利用者様の安全を考え段差など十分注意していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	業務終了後清掃を徹底しアルコール消毒を行います。清掃業務担当のスタッフもいる為、行き届いた気持ちのいい空間が確保できていると思います。	今後も環境整備や活動に合わせた空間確保に努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	カムダウンなど必要に応じて使用していない部屋を使っています。また着替えなどカーテンで仕切ってプライバシーの確保もしています。	お子様の様子や要望に応じて空間や部屋の活用を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	3	課題から目標を立案し、実施、修正や継続などを職員で考えるようにしています。	全職員が参画はできていないこともありますが意見や話し合い、共有の時間を確保できるように工夫してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	職員全体で把握しすぐに改善できる部分については迅速に対応し実施しています。	共有の場は設けていますが、新規職員には共有しきれていないため、掲示するなどしていつでも見られるようにしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	毎日のミーティングで意見を出し合うことが出来ています。	今後もミーティングで出た職員の意見や疑問点、不安な点は迅速かつ適切に対応するようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	第三者による外部評価は実施していません。	第三者による外部評価が開始した際は、指摘に対して迅速に対応していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	年間計画を立て毎月課題に沿った研修を実施しています。	外部研修・zoom研修への参加を募り資質向上を目指していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	今のところ支援プログラムの作成、公表はされていません。	義務化に向けて作成の準備を進めているので、公表された際は職員周知と意識統一を行い支援に繋がっていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	一人ひとりの児童の課題やニーズに関してミーティングで話し合っています。	分析や計画、周知まで広く職員が参画できるような場をつくっていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	得た情報、課題等全職員で周知し理解するよう努めています。	今後も職員が共通理解をし、利用者様が安心できる場で楽しく過ごしながら成長できるよう努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	全職員にミーティング・会議等で話し合い、話し合ったことは記載し共有しています。	今後も計画内容について共有ができる時間を確保するよう努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	知能検査や発達検査を受けられている方には検査結果を共有していただけるようお声かけさせていただいています。また日々の行動観察にも努めています。	標準化されたツールの解釈や分析ができるよう、職員の資質向上に努めています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	計画の中では5領域を含めた本人支援・家族支援等を記載しながら具体的な支援内容を含め立案しています。	具体的な支援内容であるか今後全職員で話し合っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	月の担当者が毎日の活動内容を考えそれを職員間で見直し検討したうえで作成しています。	職員間で話し、成長や達成感を得られる活動、楽しさを感じられる活動を今後も考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	季節に応じた活動内容を考え利用者様が「楽しかった」と言ってもらえるような活動を常に考えています。	新しい活動を取り入れたり、既存の活動も内容の一部を変えたりすることで、児童の意欲や興味を引き出せるようにしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	個々の特性・能力に応じて無理なく活動に参加できるように支援の中に組み込んでいます。	今後は専門的な支援も取り入れ、個別活動も積極的に取り入れていけるよう努めていきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	業務前にミーティングを行っています。個別対応が必要な利用者様の支援においては情報共有を行っています。	チームで連携して行う支援を強化できるように職員一人ひとりの意識を高められるよう努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	業務終了時にミーティングを行い、その日の様子や支援方法を共有しています。お休みの職員も把握できるように記録も残しています。	振り返りの時間を怠らず、成功体験や課題、ニーズについて今後も話し合いの場を大切にしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	その日の利用者様の様子・送迎中の様子をケア記録に正しく記録するように努めています。	誰が見ても分かりやすい記録の取り方を目指しています。また、日々の支援の検証を行いながらご利用様にあった支援を提供できるよう努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	6か月に1回モニタリングや話し合いを行い適切な見直しが出来よう努めています。	今後も定期的に支援会議を行い、現状や課題を把握できるよう努めています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	1	自立支援や日常生活の充実のための活動に重点を置きながらバランスをとっています。	4つの基本活動に関する理解を深めていき、支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	余暇やイベントを通じて、自分で考えて選び、決定する機会を設け、活動する中で自己決定していく力を身に付けてもらえるようにしています。	絵カードの提示や声掛けによる選択肢への誘導や提案を行いながら、今後も自己選択・自己決定の力が育てられるよう努めています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	利用者様の担当者が参加しています。参加する際には利用者様の状況を事前に話し合い詳しく状況をお伝えできるよう留意しています。	今後も利用者様の様子やこれからの課題などをお伝えし、支援の方向性を連携して考案できるように努めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	保護者様の要望に応じてケース会が開かれ参加し情報を共有させてもらっています。	今後は多職種連携を意識し、体制の整備に努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	送迎時やケース会議等で情報をいただいたり、利用時に学校行事予定をいただいたりしています。	今後さらに連携を取り合い、学校との情報共有が行えるように、協働に努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2	保護者様の要望に応じて行っています。保護者様からの情報や資料提供があったときは職員間で情報共有を行っています。	ケース会議や担当者会議だけではなく、電話での情報共有も行いながら、相互理解に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0	保護者様の要望に応じて行っています。	卒業時や他事業所への移行時などには情報提供するようにしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	3	担当者会議等で情報共有をすることはありますが、スーパーバイズや助言や研修を受ける機会が少ないです。	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言等いただける体制作りを行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	併用の他施設の利用者様たちと合同運動会や野球教室で一緒に活動するなど、またサッカー教室で地域の子供たちと交流を持つ機会がありました。	今後も地域の子ども達との交流イベントを企画していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	11	参加していませんが今後の参加に向けて検討していきます。	参加できるよう日程調整等行います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	担当者会・モニタリング以外でも送迎時や連絡帳などで情報共有が出来よう心掛けています。	今後も保護者様とのコミュニケーションの場を大切にし、共通理解をもって支援につなげていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3	ペアレント・トレーニングは実施できておりませんが保護者様から相談があった場合は対応させていただいています。	研修会などの機会を探し、参加をしたり保護者様向けにも掲示したりしていくなど情報提供していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時保護者様に説明し承諾をもらっています。	丁寧に伝わりやすいご説明ができるよう今後も努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	1	利用者様の意向を確認する機会は少ないですが担当者会・モニタリング等で保護者様からの要望を聞くことができている。今後も参加させていただき、お子様や保護者様の意思の尊重、利用者様の最善の利益を考慮していきます。	利用者様の成長や自立を考え、最善の利益が何かを常に考えながら支援ができるよう努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	2	直接ご説明ができないときはお電話にてご説明させていただきます。	十分にご説明できていない時もあるため、お時間や機会を確保しながら行えるようにしていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	家族支援の提案をさせていただき個別に相談援助を行っています。	保護者様にとって相談のしやすい場所であればよいよう努めるとともに適切な助言や対応ができるよう職員のスキル向上も目指します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	11	父母の会に関する活動は现阶段では実施できておりません。	保護者様のお声も伺いながら実施の検討をしていきます。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	苦情については迅速に対応しその日のうちに苦情内容を話し合っています。	ご指摘やご意見があった時には、お時間をいただき保護者様にご納得いただける対応や体制がとれるよう努めます。また、同様の事例を繰り返さないよう共有していきます。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	1	HUGやSNSを通して日々の様子を発信しています。	保護者様にも安心していただけるよう更新頻度を高めています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1	SNS発信の際は、ダブルチェックを行っています。また個人情報となるもので不要になったものは必ずシュレッダーにかけています。	同意書の確認を行いながら、取り扱いを徹底してまいります。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	文字にして連絡コメント記録に記載し電話でわかりやすくお伝えしています。	今後も、伝わる方法を工夫して支援に繋げていきます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	芋の苗植え・芋ほり・餅つき・サッカー教室・伝統工芸屏風づくり等を通して地域の方と交流を持ち、お手伝いをしたり教えてもらったりしています。	SNS等も活用しながら地域で開かれた事業所となるよう目指してまいります。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	利用者様の安全を確保するため迅速適切な対応ができるように研修をしています。	保護者様へは十分ではないため、改善に努めていきます。
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	BCPIに基づいて利用者様の安全を確保するため迅速適切な対応ができるように研修をしています。	避難等の訓練・研修を定期的に行うことで職員一人ひとりが迅速に対応できるように努めていきます。
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1	契約時に聞き取りをさせていただき服薬てんかんについては状況を確認しています。確認した情報はスタッフ間で共有しています。	今後も利用者様の情報を共有する仕組みづくりを行ってまいります。
		49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	保護者様からの情報提供のみですが得た情報から、おやつ、食べ物イベントの際にはダブルチェックをした後提供しています。	職員への周知とチェックを怠らないようにしていきます。
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	職員が統一した行動がとれるよう定期的に訓練・研修をしています。	送迎時等利用者様や保護者様が安心して過ごせるように今後も研修や訓練を行ってまいります。	
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1	契約時に保護者様には周知させていただいています。	今後も保護者様と連携を図り安全計画の取組み等より詳しくお伝えできるよう努めてまいります。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ミーティングでの情報共有をした後、ファイリングをして残しています。特に防止策についての話し合いに時間を取り検討しています。	今後も過去の事例も定期的に振り返り再確認してまいります。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	虐待防止策委員会を設置し年3回の委員会と施設内研修を実施しています。	今後も研修を行い、外部での学びの機会にも参加しながら虐待防止の意識を高めてまいります。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	現在は対象となる方がおられません。	やむを得ず身体拘束を行わねばならない状況になった時には必ず保護者様に相談し同意とご理解をいただけるようにします。		